

いなべ市 議会だより

第10号

平成18年8月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報特別委員会



西藤原小学校の児童たち

西藤原小学校の全校児童は50人。いなべ市内で最も児童数が少ない小学校です。けれども 運動会などの行事には、たくさんの住民が参加し、活気にあふれます。学校が地域の絆を保ち、地域が学校を包んでいます。

《西藤原小学校は「小規模特認校制度」によって、西藤原地区以外からも通学することができます。》

6月定例議会

目次

- 19人が一般質問……………P2～P11
- 委員会の活動報告……………P12～P15
- トピックス……………P16～P17
- 活動日誌、議決結果……………P18
- 討論（反対VS賛成）、クイズ……………P19

一般質問

安心・元気・思いやりが まちの宝物
いきいき笑顔 応援のまち いなべ

～ 平成18年 6月定例議会 ～

19人の議員が いなべ市の「まちづくり」を^{ただ}質しました

小林 俊彦

- 1.公共施設の
バリアフリー化
- 2.阿下喜温泉の現状は



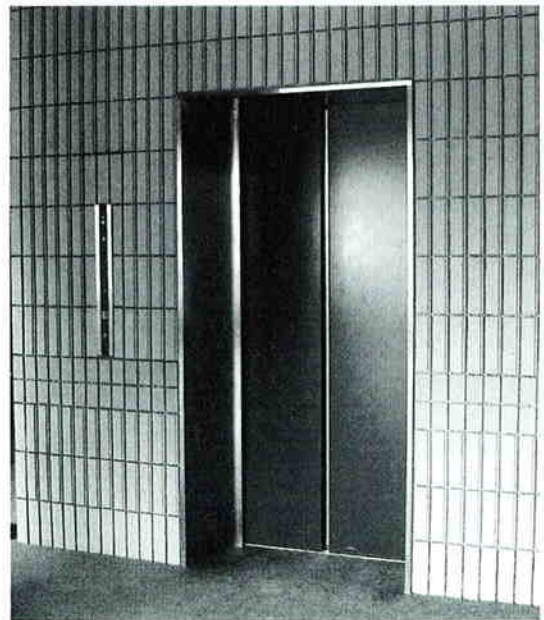
【質問1】 障害者が社会の中で普通に生活することができるよう、公共建築物や交通機関を利用しやすくするためのバリアフリー化がなされてきた。しかし、まだ未整備の施設がある。今後の予定は。

【市長】 市の各庁舎には、障害者用のトイレ、スロープなどを設け、整備を行ってきた。なお、2階へのエレベーターは未設置である。

未整備の施設については、今後改修に向け計画的に検討していきたい。

【質問2】 オープン以来、2ヵ月余りが経過した阿下喜温泉。現状と苦情への対策につき伺う。

【市長】 6月10日、入浴者が3万人を突破した。予想以上の繁盛であり、利用者からも好評である。浴槽と洗い場の間隔が狭いことについては、施工時



北勢市民会館のエレベーター

から指摘があったため、シャワーの水圧を下げ調整した。現在では、苦情も予想以上に少なくなった。湯上がりの休憩スペースについては、増設を議論する必要がある。

伊藤 弘美



阿下喜温泉の状況は

1. 入浴者の数
2. トラブルへの対応
3. 今後の維持管理

【質問1】 3月21日のオープンには800人もの方が入浴され、前途洋々のスタートとなった。その後の集客も順調であると聞すが、現在までの入浴者数の推移はどのようなものか。

【市長】 順調である。6月10日には、延べ3万人を超えた。

【福祉部次長】 平日が280人から300人。土・日・祝日は560人から780人。なお、1日当りの最高は900人であった。

【質問2】 設備・人的両面でトラブルがあったが、お客さんへの対応は適切だったのか。また、今後の課題は。

【市長】 「ヒートポンプ」の故障でご迷惑をかけ申

し訳なかった。

温泉内で女性の方が体調を崩されることもあるため、今後は女性スタッフの充実を図り、対応していく。

【質問3】 財政厳しき中、毎年約8,500万円の管理費が必要ということであるが、その算出根拠を示してほしい。

【福祉部次長】 内訳の主なものは次のとおりである。

消耗品費（シャンプー、リンス、ボディソープ、タオルなど）	1,100万円
印刷製本費（チラシ、パンフレット、回数券など）	150万円
電気使用料	1,100万円
上下水道使用料	300万円
建物などの修繕料	150万円
役務費（通信運搬費、電柱看板広告料など）	240万円
委託料（施設保守管理、清掃業務、機械設備業務、植栽管理業務など）	1,860万円
人件費ほか（日常運営管理、フロント業務、イベント業務など）	3,520万円

伊藤 和子



1. 北勢中学校、員弁中学校の給食実施計画はどうなっているのか
2. 地域防災無線システム
～災害から住民を守るために～

【質問1】 アンケートの結果、給食を希望している保護者が90%近くに上がることがわかった。早期実施を待つばかりとなったが、具体的な実施計画と方法（自校方式・給食センター方式）について伺う。

また、実施となれば、貴重な昼休みを効率的に使うため、「ランチルーム」の設置が必要と考えるがいかがか。

【市長・教育次長】 生徒の栄養管理や食育の面からも、中学校給食は積極的に実施していきたい。財政面を考慮しつつ、早期実施のため努力している。具体的な時期・方法については、決まりしだい報告する。「ランチルーム」の設置は理想だが、巨額の費用がかかるため難しい。

【質問2】 合併前の北勢町には「オフトーク」という戸別受信機があった。各種災害から住民の生命・財産を守るため、戸別受信機の設置は不可欠だと考えるがいかがか。また、聴き取りにくいなどの、屋外放送の問題点を解消してほしい。

【市長・総務部長】 戸別受信機の導入は、巨額の費用がかかるため難しい。現在のシステム（屋外放送）を長く維持しながら、携帯電話の「まいめる配信」も利用いただけるようにしていきたい。

屋外放送については、今後整備していきたい。



いなべ市議会だより



藤本 司生

三岐鉄道
北勢線について

【質問】 ①三岐鉄道との契約では「全ての赤字は沿線市町が責任を負う」となっている。沿線市町は三岐鉄道に対し、施設の整備などにかかる交付金として、すでに35億円の負担をしている（10年間53億2,000万円のうち）。しかし、運行に関わる赤字補てん額は20億円になっている。平成15年度から平成17年度にかけ、約14億円に上っているため、2年後には間違いなく補助金が使われてしまうことになる。

三岐鉄道は、10年間の業務委託契約のうち、残り5年間の赤字分を支払っていくことになるが、平成17年度の利益が1,600万円（税抜）という状態で、どうやって赤字補てんができるのであろうか。

振りかえり、近鉄から三岐鉄道への移行時の営業計画書を見ると、当時の近鉄の年間営業赤字額7億2,000万円は三岐鉄道への移行により、1/3以下の2

億円に減り、通学定期代が3倍に増えても乗客数は増加になると書かれている。これは「まやかし」のごとき計画書である。今さらではあるが、このような計画書を作った根拠につき、説明を求めるとともに、作成に当たった責任者を明らかにしてほしい。
②4月に起きた脱線事故の責任の所在は。また、事故に適用される保険は万全であるか。

【市長・企画部長】 ①契約では、沿線市町が三岐鉄道に交付する運営資金の総額は10年間で53億2,000万円となっており、用途は設備投資と赤字補てんなどに充てることと謳ってある。そのため、沿線市町がこれ以上三岐鉄道に対し、負担することはない。②三岐鉄道が責任を負う。1事故あたり最高50億円の保険に加入している。



川崎智比呂



阿下喜温泉の
問題点と今後

- ・湯上りの休憩所を
- ・民間委託への方向性は

【質問】 ①オープン以来、大変好評の阿下喜温泉「あじさいの里」であるが、多くの利用者から「湯上り時の休憩所がほしい」という要望がある。施設を改修し、新たに休憩所を設けてはどうか。

②今後、「指定者管理制度」を取り入れ、管理運営を民間に委託する考えはあるのか。

【市長】 ①オープンから入浴者が延べ3万人に達し、順調に推移しているが、利用者からは、さまざまな要望も出てきている。その中でも多い要望は、休憩所がないということである。

今後は、専門家の意見も聞き、阿下喜温泉の目的が福祉であるというコンセプト（概念）からも、リラックスルームを設けるなどの施設整備を行ってきたい。

②阿下喜温泉は、総合型地域スポーツクラブ（元気

クラブいなべ）とともに、健康増進を目的に運営を行っている施設である。こうした運営は全国的にもめずらしい。行政としては、そういった特徴を活かしながら、この温泉のあるべき方向に進むよう頑張りたい。

しかし、行政が利用者の満足度を高めるため、柔軟な対応を取るには限界があると感じる。そのため、健康福祉施設として一体的な運営に基づいた「指定管理者制度」の活用についても検討に入る時期が来ると考えている。



あげき温泉「あじさいの里」

城野正昭



- 1.フェロシルトの撤去と搬出
- 2.員弁中保育園移転後の
通園安全対策
- 3.員弁中保育園移転後の
活用計画は

【質問1】 撤去計画が大幅に遅れている。石原産業からの謝罪と説明はあったのか。地下水の調査結果を示してほしい。

【市民部長】 謝罪はあった。遅れた理由は、ボーリング調査の結果、搬出すべき量が計画より多くなったため、搬出先（処分場）との関係で遅れたということであった。変更後の搬出計画は、大安町丹生川上地区が平成18年2月9日から8月中旬。藤原町鼎地区が平成18年5月29日から平成19年の6月末。市は、今後も遅れないよう、監視・指導をしていく。地下水の調査は、平成18年2月と5月の2回行った。計測結果に異常はなく、5月27日、地元説明会（藤原町鼎地区）で報告した。

【質問2】 保育園の移転先（勘次郎溜跡）は、幹線道路に面している。安全に対する考えは。

【市長】 交通量の多いことを考慮し、県・市道の道路改良も含め、安全には万全を期す。敷地は広いので、奥の方に園舎を建てることで十分安全対策が取れる。

【質問3】 員弁中保育園移転後の施設の再利用計画はあるのか。老人クラブやサークルの書道・絵画の展示場として貸してはどうか。

【市長】 児童施設としての設備が整っているため、児童施設としての利用を最優先に考えている。もし、利用計画が立たない場合は老人クラブに相談をかける場合もありうる。



員弁中保育園

岡 英 昭



- 1.障害者自立支援法の
施行に向けて
- 2.三岐鉄道との契約終了後は
- 3.国道421号トンネル開通に
向け、観光施設の充実を

【質問1】 障害者自立支援法の施行を控えての事業状況は。

【福祉部長】 利用者説明会（出席者100名）、民生児童委員会での制度説明会、広報誌を通じての市民向けの概要説明などを行った。コミュニケーション支援を行った実績は約100件。施行後の手話通訳者・要約筆記者の育成は、県の協会に委託し、社協も含め、協働で育成を図っていく。移動支援事業の中でヘルパーによる移動支援の利用実績は79名であった。

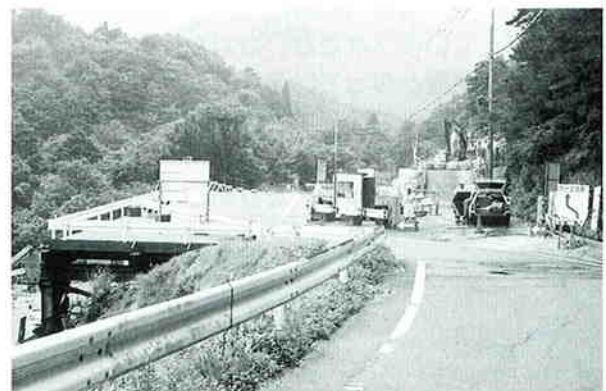
【質問2】 三岐鉄道との北勢線に関する覚書による契約期間終了後は。

【企画部長】 国からの高速化補助事業があるため、

三岐鉄道はリニューアル整備事業（平成15年～24年）実施後も撤退はできないと考えている。

【質問3】 国道421号トンネル工事に伴い、地元の観光施設などを充実させるための方策は。

【市長】 昭和26年から要望してきたことが現実のものとなった。まずは宇賀溪への誘導路や駐車場についてはトンネルの残土を利用し整備したい。一世紀に一度訪れるかどうかの大チャンスであるので、地元団体と話し合い、できることから整備していきたい。



トンネル工事現場

いなべ市議会だより

近藤 幸洋



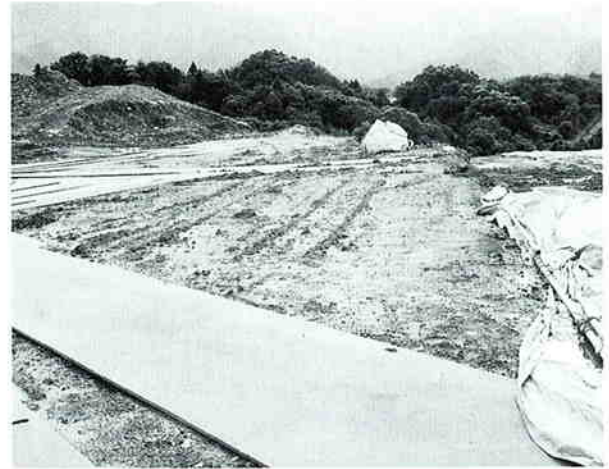
フェロシルトの撤去
～1日も早く住民に安心を～

【質問】 フェロシルト撤去が大幅に遅れており、地域住民の不安は高まるばかりである。

①現在までの経過と市の対応は。②撤去完了の時期はいつごろになるのか。③回収における仮設通路と運搬路線は。④撤去後の土地の安全性は。

【市民部長】 ①大安町丹生川上地区は平成18年2月に撤去が始まった。藤原町鼎地区は未だ搬出がなされていない。そのため石原産業に対し、企業努力をするよう再三申し入れた。県に対しては、関係部署に指導強化を申し入れてきた。②現在における搬出完了予定は、大安町丹生川上地区が平成18年8月末（総量17,500 t）、藤原町鼎地区は平成19年6月末（総量112,200 t）。③藤原町鼎地区は民家に近いため、区民の協力により、仮設道路を「県道・時下野尻線」へ取り付け、県道を下り、四日市市の

処分場へ運ぶ。平成18年9月頃からは増車が予想されるため、一層の安全対策を考慮しなくてはならず、国道365号へのルートについても協議していきたい。
④ 提出された石原産業の回収計画書では、回収完了後に土壌調査(河川水、地下水、放射線量)などを実施。地下水は3か月ごとに2年間行う。撤去後の計画は未定。地権者と相談のうえ決定したいということは石原産業から聞いている。



藤原町鼎地区のフェロシルト埋設現場

小林 昌彦



不法投棄の防止策は
～テレビとアスベストを含むスレートの処理法も問う～

【質問】 ①国道沿いに不法投棄されたゴミの処理は、土地の所有者にとって非常に迷惑である。行政において対処方法はないか。②テレビはアナログからデジタルに移りつつある。今後はテレビの不法投棄の増加が十分考えられる。今から対処方法や受入方法を考えていくべきだがいかがか。③アスベストが全国的な問題となっている。アスベストを含んだスレートの処理については、国の取り扱いに関する指針が出たと聞いている。今後、市は安全性を考慮した処理方法を検討すべきだがいかがか。

【市長】 ①投棄者の特定ができれば行政による対応が可能となる。しかし、法律上、特定できない場合は、土地所有者が処理することとなっている。国道421号の対策として防護柵の設置を県に要望して

いる。また、市としては「警告板」を市費で設置する方向で具体的な検討に入る。②市民には「家電リサイクル法」の主旨を十分に周知していく。③国からアスベストを含有したスレートの処理についての通達があった。市としては通達を基に処理をお願いする。具体的には大量に処分する場合は、産業廃棄物として業者を経由し、私費で処分していただきたい。少量（1～2枚）の場合は、市において処理できるよう、具体的な方策につき検討を進める。



国道421号沿いに不法投棄されたゴミ



出口正

不正を防止し、
今後も公正・公平な入札を
~いなべ市の入札につき問う~

【質問】 公共工事は貴重な税金を使っており、厳正かつ公正でなければならない。我が国の入札制度は、一般入札・指名競争が並存する形で、透明性と競争性の向上を掲げながら改革が行われてきた。しかし、公共事業をめぐる不祥事件がしばしば報道され、国民の信頼は大きく揺らいでいる。

そこで我が市においては、公正公平を第一義とし、不正のない厳格な入札が行われるよう、以下4点につき問う

①いなべ市の入札は、原則とされる「一般競争入札」ではなく「指名競争入札」を基本としていると理解しているが、発注者（市）としてのメリットは。②員弁西保育園の移転に伴う保育園の新築工事の入札は「指名競争入札」ではなく「一般競争入札」とした理由は。③談合防止対策は。④地元業者への配慮は。

【市長】 ①「一般競争入札」が入札の基本であると認識している。「指名競争入札」のメリットは、信用のおけない業者や不誠実であった業者を排除することができる。また、手続きが簡素であるとともに地域性を考慮した上での指名ができる。②談合問題が社会問題となっていることや工事金額も高いため、国の指針どおり、今回初めて「一般競争入札」を取り入れた。

【総務部長】 ③談合情報の対応マニュアルに基づき、厳正に対応している。④地元業者には、一般土木工事や物品の購入などにおいて配慮している。



鈴木順子

1. 障害者への福祉施策について
2. 子どもの安全と
健全育成について
3. 男女共同参画への取り組みは

【質問1】 市長は福祉をどう位置づけているか。「総合福祉センターを建設したならば、その中に療育センター・音楽療法・職業訓練・相談支援事業などを行う場所を設置する」と述べたが、総合福祉センターの建設にかかわらず、すぐにも実施すべきである。

また、障害者に対するタイムケア・就労支援の進捗状況はどうか。住民の声を生かした障害者福祉総合計画の策定を望む。

【市長】 福祉施策は、市の最重要課題である。総合福祉センターの必要性から、平成18年度に基本構想を策定したい。障害福祉計画は、本年度中に策定する。

【質問2】 「放課後児童健全育成事業」につき、教育長はどのように考えているのか。引き続き質・量ともに十分な支援を求める。

【教育長】 「放課後児童クラブ」は重要な役割を果たしている。そのため、今後も引き続き支援を行っていく。

【質問3】 「男女共同参画社会」の実現は、重要課題である。今後どのように取り組んでいくのか。

【市長・企画部長】 男女共同参画は、最重要政策課題であり、企画部が担当する。平成18年度中に状況調査をし、平成19年度中に関係条例を制定。その後、基本計画を策定する。





小川 克己

- 1. 豪雨による被害対策
～養父川と山神川～
- 2. 藤原町の土石流対策
～移住地の住宅団地造成工事～

【質問1】 4月11日の豪雨により、門前地区で浸水被害が発生。以前には南金井地区においても被害が出ている。「養父川」、「山神川」の抜本的改修が必要と考えるが、今後の対策は。

【市長】 今回の浸水被害は、梅戸、門前両地区に及んだ。対策としては「横井の農業用排水路」の氾濫を防ぐため、排水路を改修して雨を的確に「養父川」へ流すべきである。しかし、下流にあたる梅戸の馬起地区においても氾濫が起きている。そのため「養父川」が豪雨時の水量にも耐えうる河川改修が必要である。県と協議を重ねている。

「横井の農業用排水路」は「山神川」から取水している。「山神川」からの取水については横井用水の農業関係者と「養父川」への排水路の改修は地区の関係者と協議を進めていきたい。

【質問2】 藤原町の土石流対策の一つである移住地の住宅団地造成工事の進捗状況は。

【建設部長】 大貝戸住宅団地造成工事は、調整池の外周擁壁は70%ほどを施工。宅地外周擁壁は60%ほど進んでいる。既設の排水路の暗渠^{あんきよ}布設替えは終了した。宅地内の道路排水工事も進んでおり、造成工事の完了予定は12月末である。

なお、坂本住宅団地造成工事は、購入希望者が減少したため、事業を休止している。



川幅が狭い養父川（梅戸地区内）

奥岡 征士



- 1. 北勢線は大丈夫か
- 2. 市民に阿下喜温泉の優待券を

【質問1】 市は、沿線自治体などが55億円もの財政支援をしている北勢線の事業の運営状況につき、市民に対し、報告と説明を行う義務がある。①平成17年度の乗降客と営業損益は。②平成18年度に行う工事の施工業者の選定は、正しく行われているのか。③コミュニティバスとの連携は。④桑名駅への乗り入れは検討されているのか。

【企画部長】 ①大泉駅などの新駅に駐車場を併設したことから、前年度に比べ、乗降客が13万5千人増加した。それに伴い、運賃収入も約3千万円増えた。しかし、トータルでの営業損益は約3億8,800万円の赤字となり、3カ年の累積赤字は約13億円に膨れ上がっている。②入札などにより、すべて厳正に行われているとの報告を受けている。③今年度、三岐鉄道が阿下喜駅舎新築工事を行うのに伴い、運

行面の整備をする計画である。④平成21年度末になると考えている。

【質問2】 阿下喜温泉の利用促進のため、市民に優待券を配るなどしてPRを図ってはどうか。

市民の税金により造られた福祉施設であるが、利用者は、市内に比べ市外の方が多い。多くの市民の活用を促すため、年に一度利用できる「優待券」などの支給や「定期券」・「オフピーク（閑散時）割引券」の発行などの方策を考えてはどうか。

【市長】 市民に多く利用される方策を検討する。





清水保次

やぶがわ
養父川(大安町地内)の
河川改修は
～豪雨による被害が絶えない～

【質問】 4月11日の豪雨は市内各地に大きな被害をもたらした。特に、門前西溜を源流とする「養父川」の水は、梅戸地内の馬起橋周辺で氾濫。周辺の家屋に浸水し、大きな被害を出した。この馬起橋周辺の養父川の氾濫は、ひんぱんに発生しており、抜本的な対策が必要と考える。今後の計画は。

【市長】 梅戸地内の「養父川」は幅員が狭く、傾斜が1,000分の1と極端に緩い。2級河川であるため、県に対し抜本的な河川改修を要望している。しかし、県の河川予算が大幅に削減されているため、なかなか進展しない。

また、馬起橋には農業用水のための頭首工があり、河川の幅員を狭め、川床を上げる要因の一つになっている。現在、その頭首工の取り扱いにつき、農業関係者との間で調整を行っている。

【再質問】 頭首工の代わりに、河川内部に用水路を付けてはいかがか。工事費も安く、農業用水も確保できると思うが、その可能性はどうか。

【市長】 河川内部に農業用水などの構築物をつくることは難しい。その構築物が川の流れを阻害する恐れがあるため、県は河川内部に用水路をつくることに対して消極的である。



養父川に架かる馬起橋と頭首工



水谷治喜

随意契約により行われた
石榑小学校旧校舍解体工事
の疑問点を問う
～昨年の12月議会での教育次長の答弁から～

【質問】 ①設計事務所が参考価格として算出した解体工事設計額は、9,569万5千円で間違いはないか。②教育次長の昨年の12月議会における答弁の中で「同工事の設計額を算出したところ、約1億3,800万円となった」と述べた。この金額は教育次長が独自で算出したものか。③新聞報道によれば、教育総務課長が「設計価格(参考価格)は、決裁文書のとおり、設計事務所が提出した額である。予算は、この金額を根拠に昨年9月、9,600万円の補正を組んだ」と言ったとされる。これは真実か。④随意契約により、8,715万円で解体工事が行われた。随意契約は市にとって有利だったのか。

【教育次長】 ①そのとおりである。②私独自ではない。③そのとおりである。④有利だったと考えている。

【再質問】 ①設計事務所に対し設計料(参考価格)を支払っていない。これはなぜか。②教育次長は昨年の12月議会で「約1億3,800万円の算出は、自らが行った」という旨の答弁をしている。「独自ではなかった」という答弁は間違いである。約1億3,800万円という金額を挙げたのは、随意契約を正当化するためで言ったのではないか。結局、この契約により得をしたのは誰なのか。③今後の契約に対し、どのような姿勢で臨むのか。

【教育次長】 ①設計事務所とは、設計に対する契約を交わしている。②市にとって有利であった。③透明性のある契約をしていきたい。



解体される旧石榑小学校校舎(平成18年1月)



水貝 一道

- 1.入札制度の適正化
～市民のため、フェアな入札を～
- 2.市の財政状況と決意を
収入役に問う

【質問1】 石榑小学校の旧校舍解体工事が随意契約で行われた。高額な随意契約に対し、市民からも不公平・不透明といった批判が多い。

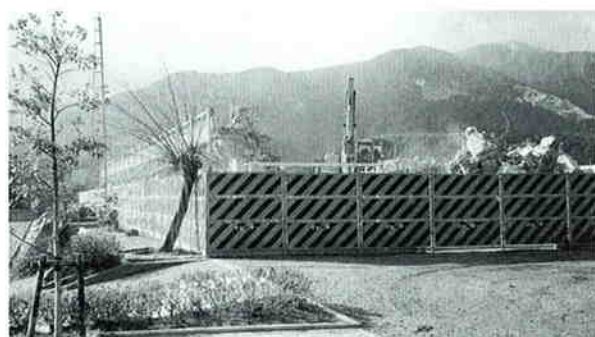
①入札の適正化とはどういうものか②高額な工事請負契約には「一般競争入札」を取り入れるべきではないか。③地元業者の育成と活用策は。④「いなべ市」が行った契約のうち「指名競争入札」と「随意契約」の件数は。⑤入札制度の適正化と透明性の確保のため、指名審査会のメンバーに市民を入れることはできないか。

【市長】 ①誠実で技術力のある業者が自由に競争し入札することが望ましい。②時代の流れに沿い、今後は「一般競争入札」を逐次導入していく。③地元業者も「一般競争入札」に参入できるような工夫をしていきたい。

【総務部長】 ④平成17年度の「指名競争入札」は370件。「随意契約」は130件。⑤秘密保持と個人情報保護の観点から、今までどおり、市の職員により構成していきたい。

【質問2】 県下初の女性収入役が当市で誕生した。収入役として、現在の市の財政状況と今後の運営・管理についての決意は。

【収入役】 市内の優良企業の業績が好調で税収入は順調に伸びているが、反面、地方交付税の減額などにより、財政は非常に厳しい。会計事務については適正に運営できるよう最善の努力をする。



旧石榑小学校校舎解体工事現場（平成18年1月）



川瀬 利夫

- 1.指定管理者制度につき問う
- 2.スポーツと文化施設の状況
～市民が利用しやすい施設にするために～

【質問1】 ①指定管理者制度に対する「いなべ市」の方針は。②指定管理者の選考委員の中に市民代表は入っているのか。

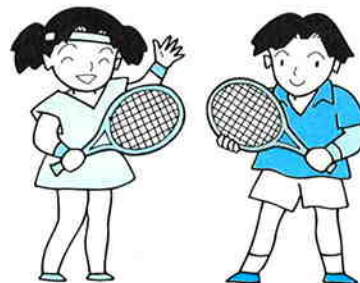
【市長】 ①今後も指定管理者制度を広げていきたい。なお、募集は公募で行う。

導入するに当たっては、質の高いサービスを提供できるかどうかという点を十分検討した上で移行しなければならない。②自治会長の代表や商工会の会長などが入っている。

【教育次長】 ①運動施設と文化施設については、できる範囲で導入していきたい。

育協会、文化施設は文化協会と、はっきりと分けて委託することが望ましいと考えるがいかがか。③スポーツ施設と文化施設の利用料金の未払いはないか。また、利用促進のため、予約方法や利用料金の支払方法などに工夫を。

【市長・教育次長】 ①体育協会・文化協会と協議をしながら、指定管理制度も視野に入れ、サービスの向上などを含めての検討をしていきたい。②人的面も考慮し、体育協会・文化協会との協議を進めていきたい。③現在のところ未払いはない。予約と利用料金の支払方法については、段階的に整備していきたい。



【質問2】 ①スポーツ施設と文化施設の利用促進策は。②今後の施設運営につき、スポーツ施設は体



衣笠 民子

1. 員中・北中の給食を市の直営で早期に実施を
2. 市の各バスに意見用紙、回収箱の設置を

【質問1】 ①アンケートの結果、9割近くの家庭で給食を希望していることがわかった。「いろいろな方法を検討したい」と3月議会で答えているが、それぞれの方法の長所と短所は。②現場の意見は。③大安給食センター（市直営）の調理員が正規職員から臨時職員へと移行しているが、どういう意図があるか。④大安給食センター（市直営）の派遣職員は、どこからの派遣か。

【教育次長】 ①員弁中学校は、大安給食センターからの配送。北勢中学校は調理室の建設。この方法が利用できる施設を利用し、最小限の経費で中学校給食の格差を無くす良い方法だと考えている。②これから協議を進めていきたい。

【市長】 ③職員の削減は国の方針。現業職から民間へ任せていきたい。④魚国から。

【質問2】 コミュニティバスへの意見をきめ細かく聞き、改善できる点は改善して住民の利便性を計り、乗車率を向上させることが大切。利用している人が最もバスの充実を必要とし、利用を通じて改善点に気づくことも多い。有効な方法として、各バスに意見用紙と回収箱を設置してはどうか。平成16年6月の議会では「有効な手段なら前向きに検討したい」と答弁しているが検討の結果は。

【市長】 ニーズ調査を何らかの形ですることは必要。しかし、利用していない人の調査が大切だと考える。



福祉バスとシャトルバス



石原 瞭

総合福祉センターの 建設計画

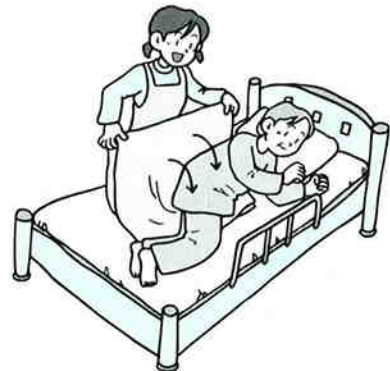
【質問】 市長は「総合福祉センターの機能につき、平成18年度で詰めていく」と述べている。すでに建設が決まったように進められようとしている。議会に対する説明は一度もない。

①今後の「いなべ市」の福祉をどのようにしていくのか。地域福祉計画が先にあるべきだと考えるがいかがか。②本当に今、総合福祉センターが必要なのか。③総合福祉センター用地とされる場所は、旧大安町において計画していた場所か。もし、その場所であれば「いなべ市」の端っこに当たる。市民レベルでの合意形成のための努力が必要ではないか。④もし、その場所となれば、すでに「いなべ市」の名義で登記がなされている土地であるため、「いなべ市」の土地を「いなべ市」が買うということになる。納得できない。市長はどう考えているのか。

【市長】 今年度中に地域福祉計画が策定できるよう準備に入りたい。内容は、ご指摘の通りである。

建設については、現場の意見に基づき、慎重に進めるべきだと思う。建設場所は「白紙にせよ」と言うことになれば白紙にする。

名義の問題（土地開発公社で買って、大安町名義にしたこと）については、全く矛盾していないと言いつける。



委員会の活動報告

総務常任委員会

付託案件の審査（6月16日、審査案件－5議案）

- いなべ市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について （全員賛成）
- いなべ市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について （全員賛成）
- いなべ市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について （全員賛成）
- 三重県自治会館組合の共同処理する事務の変更及び三重県自治会館組合の規約の変更に関する協議について （全員賛成）
- 平成18年度いなべ市一般会計補正予算（第2号）のうち、総務常任委員会の所管 （全員賛成）

委員会での質疑

1. 消防団員の補償と手当

Q 消防団員が操法の練習中にケガをした場合も公務災害の対象となるのか。

A 団員の資格があれば対象となる。

Q ケガなどをした場合の「補償基礎額」が下がるのはなぜか。

A 政令に基づいての改正。物価や年金など、社会情勢による。

Q 退職報償金が増えるのはなぜか。

A 近年、消防団員の確保が難しくなっている。今回の改正は団員に対する処遇改善の一環である。



2. 防災面を問う

Q 大安老人福祉センター（大安庁舎西）耐震調査の結果次第では、早急な建て替えを要することもあるのではないか。そういったことも現在想定しているのか。

A 建築基準表に基づき行う。結果によっては協議の上、何らかの方策を取る。

Q 防災行政無線が聞きとれない時があった。原因は何か。

A 特殊なバッテリーを使用しているため、取り換えに時間を要した。

視察研修

テーマ **市民に安心と信頼を**

平成18年7月6日～7日

「自主防災組織と情報システムを学ぶ」（福井県越前市）

越前市は、武生市と今立町が合併して誕生した市。人口は約84,000人。福井豪雨で甚大な被害に遭ったことから、市民の防災意識が高く、市内215町内会には自主消防隊があります。今後は消防に加え、防災も組み入れた組織活動の展開が進められようとしています。

いつ起こるかも知れない災害。いなべ市も「防災力」を高める必要があります。委員会は越前市において学んだことを基にし、今後も安心・安全なまちづくりのための調査研究を進めます。

「市の目標管理システムと事務事業効果」（石川県羽咋市）

計画に基づき、効率の良い事務を進めつつ、市民の満足度を高めるための取り組みにつき学びました。

教育民生常任委員会

付託案件の審査（6月16日、審査案件－3議案）

- 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について（全員賛成）
- いなべ市・東員町障害者介護給付費等の支給に関する審査会の共同設置に関する協議について（全員賛成）
- 平成18年度いなべ市一般会計補正予算(第2号)のうち、教育民生常任委員会の所管（全員賛成）

委員会での質疑

障害者介護給付費支給のための審査会

Q 審査会の委員のメンバーは。

A 委員は10人。内訳は医療機関(医師)4人、保健関係2人、福祉関係4人。

Q 審査と判定の方法は。

A 委員10人を5人ずつの2グループに分け、2合議体で行う。

Q 審査委員に対する日当20,300円の根拠は。

A 審査内容を考慮し、介護認定審査会委員に対する手当と同額にした。

視察研修

テーマ 福祉の充実のために

平成18年5月18日～19日



「菊川市総合保健福祉センター」を視察（静岡県菊川市）

将来、いなべ市が総合福祉センターを建設することになった場合、その建物が市民にとって、有効な施設となるよう、今回の視察研修などで得た知識を基に、市に対し提案を行っていくことも議会としての大切な任務です。

施設の特徴

- 「福祉課」、「社会福祉協議会」、「在宅介護支援センター」の3つの窓口がすべて1階に。3方向き合っているため連携がスムーズ。
- 段差、壁の角など、安全面への配慮が行き届いている。また「ベッドを乗せるスペースがあるエレベーター」、「小窓付きのエレベーター」、「電動式トイレ」なども、使う側の意見を取り入れて設置されている。
- 遊戯室、おもちゃ図書館があり、乳幼児の検診も施設内で行われる。そのため、デイサービスの利用者が子どもたちと接する機会も多く、お年寄りの方から好評である。
- 中庭は子どもの遊び場にも利用されている。
- 心が安らぐよう、施設内の各所に多くの絵画が飾られている。

「ねむの木学園」を見学（静岡県掛川市）



ねむの木学園は、昭和43年、日本で初めて設立された肢体不自由児のための養護施設。現在は、当初からの念願であった成人後も引きつづき学園で生活し、教育を受けることができる「肢体不自由児養護施設」となっています。理事長・園長は歌手・女優としても有名な宮城まり子さん。

産業建設常任委員会

付託案件の審査（6月16日、審査案件－2議案と請願）

- いなべ市観光用駐車場条例の制定について （全員賛成）
 - いなべ市道路線の変更について （全員賛成）
 - ☆出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願 （全員賛成）
- ※消費者金融などからの多重債務による自殺者が増えているため、国に対し、金利を改めることなどを求める請願。

委員会での質疑

観光用駐車場

Q 藤原町聖宝寺の「もみじまつり」を想定した条例か。

A そうである。「もみじまつり」などの観光用駐車場として藤原町坂本33番地8に設置する。管理については指定管理者制度を取り入れ、10月には、指定する予定である。

Q 指定管理者に管理移行後の駐車場の草刈り、トイレの電気代や水道代の支払などはどうするのか。



A 支出面も、すべて指定管理者に行っていたら。

Q 利益の出るものではないと思う。市のフォローはないのか。

A 1年間指定管理者に行っていたいただいた実績に基づき、あらためて市としての対応を考える。

指定管理者制度とは

公の施設（体育・文化・福祉など）の管理運営を、市が指定した団体に代行してもらう制度。現在、いなべ市では「青川峡キャンプパーク」の管理を指定管理者制度により行っています。

視察研修

テーマ 農業の進むべき方向性

平成18年5月18日～19日

「営農センターのシステムを学ぶ」（長野県飯島町）

いなべ市は4月に「営農支援センター（事務所は藤原庁舎2階）」を設立。集落支援体制を整え、市内の営農組織の育成を進めていくことになりました。今回の視察には、担当部局である建設部の部次長や営農支援センター所長も同行。先進地である飯島町のシステムや活動を学びました。

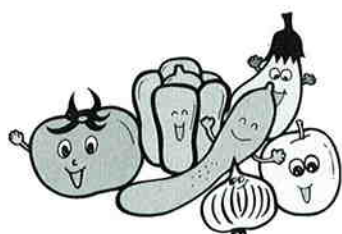
参考になる点も多く、委員会としても、研修の成果を生かすべく、今後も集落営農に関する調査研究を進めていきます。

飯島町営農センター

組織形態－全農家参加型（1,270戸）…昭和61年設立

主な実績－①「営農センターの企画・立案・評価機能」と「地区営農組合の実践機能」を組み合わせた『地域複合営農』の推進による農業振興

②飯島町方式の組織営農による21世紀に対応した農村機能の維持継承



「はびろ農業公園 みはらしファームを見学」（長野県伊那市）

農業公園内には「そば打ち体験」、「パン作り体験」など豊富な体験メニューがあります。

また、地元で採れた野菜の直売所、温泉、宿泊施設を兼ね備えるなど、新しいタイプの農業公園として全国的にも注目されています。

広報特別委員会

視察研修

テーマ **読みやすい広報誌にするため**

平成18年5月15日～16日

「議会だよりの先進地に学ぶ」（岐阜県本巣市、静岡県島田市）

広報特別委員会は、議会だよりを今まで以上に読んでいただける広報誌にすることを目指しています。そのため、先進地である2つの市を訪問。市民に親しまれる広報誌づくりを学びました。今後は2つの市の良い点を取り入れ、紙面の刷新に向け努力していきます。



すべてのページがカラー
(本巣市)

本巣市

本巣市は、本巣町・糸貫町・真正町・根尾村の4市町が合併して誕生した市。人口は約34,000人。

編集は経験豊富な委員長を中心に行われています。文を詰めすぎないように、空白を多く取り入れた読みやすい広報誌となっています。

島田市

現在の島田市は、新島田市として旧島田市と旧金谷町が合併して誕生した市。人口は約99,000人。

議会だよりの編集は「開かれた議会調査特別委員会」の活動の一環として行われています。読みやすくするため、ゆとりのあるレイアウトで構成。討論内容や議員ごとの案件に対する賛成・反対の採決結果表を掲載するなど、斬新な紙面づくりが市民から評価されています。



表紙は写真をもとに色鉛筆でスケッチ風に
(島田市)

議会運営委員会

視察研修

テーマ **議会の審議方法を学ぶ**

平成18年6月29日～30日

「よりよい議会運営を行えるよう、2つの市議会を視察」（山梨県南アルプス市、山梨市）

現在、いなべ市議会には会派制度がありません。定数60人の在任特例期間中とほぼ同様の形式で議会運営を行っています。

そのような中、議会運営委員会は、会派制度、一般質問の方式などを研究し、より密度の濃い審議や質問を行えるような運営をすることが、住民の負託に応えることにつながると認識。今回、先進地である山梨県の2つの市を訪れ、研修を受けました。

今後は、視察で学んだことを参考とし、議会の活性化をめざし調査・研究を進めます。

南アルプス市 人口—約73,000人、議員定数28人

山梨市 人口—約39,000人、議員定数20人

視察を行った2つの市議会には会派があります。そのため、一般質問のほかに代表質問も行われています。また、調査研究のための経費として「政務調査費」が月額15,000円(議員1人当り)支給されています。

トピックス

議会にかかわる 「まちの話題」などを紹介します

国道421号 石榑峠トンネルの工事が進む
～平成23年開通予定～

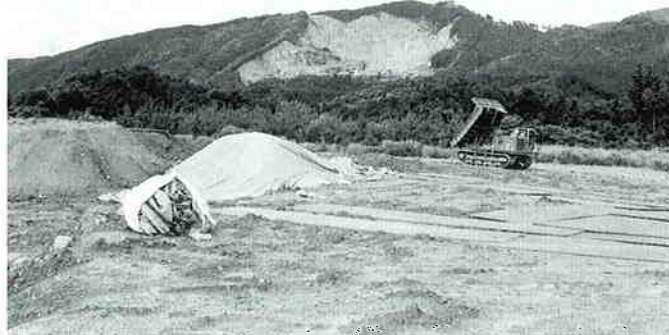


滋賀県東近江市で行われた起工式（5月27日）



いなべ市側の工事現場

フェロシルト(土壌埋め戻し材)の
搬出はじまる
～環境基準を超える有害物質を含む～



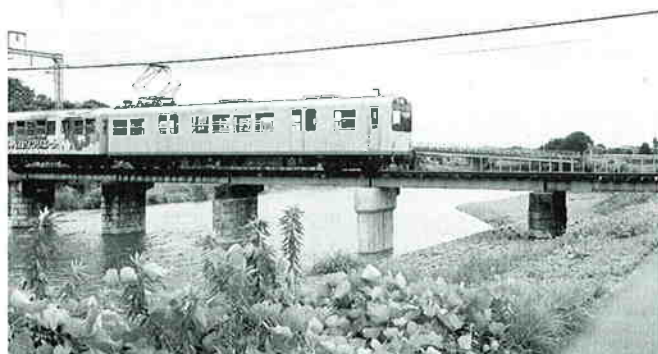
大安町丹生川上地区の搬出はすでに行われていましたが、予定より遅れていた藤原町鼎地区についても搬出が始まりました。
〈クローラーダンプ(右上)からダンプカーに載せ、搬出されます〉

コミュニティバスの運行始まる
～愛称は「アイバス」。まずは員弁町地域から～



来賓を迎えての開所式
(5月31日：員弁コミュニティプラザ)

北勢線、戸上川に架かる橋の復旧工事が完了
～橋脚の付け替え工事～



いなべ市と桑名市を結ぶ三岐鉄道北勢線。4月11日の集中豪雨により脱線事故の原因となった戸上川（東員町地内）に架かる橋の復旧工事が6月27日に完了しました。
(戸上川に架かる橋梁)



市内を走るコミュニティバス（楚原駅前）

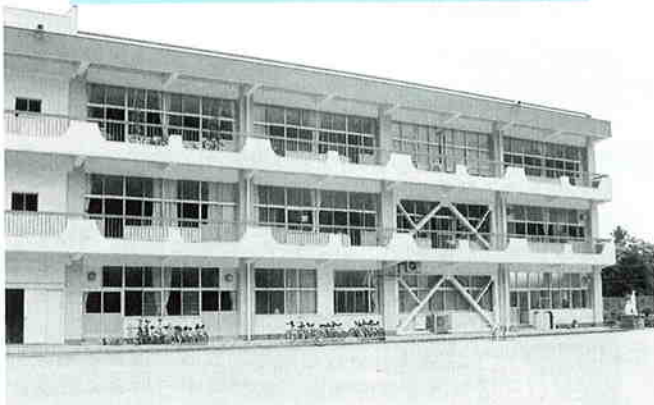
大安庁舎で初めての定例議会を開く
～旧大安町議会の議場を使用～



(議会開会前の議場風景)

4月から議場や議会事務局など、議会にかかわるすべての施設が大安庁舎2階へ移転しました。それにより、6月の定例議会や常任委員会は大安庁舎で行いました。

小規模特認校 西藤原小学校
～通学区を越えて入学・転学が～



6年生の児童

小規模特認校制度とは「少ない人数で、確かな学力を着けさせたい」、「豊かな自然環境に恵まれた学校で学ばせたい」という保護者の希望がある場合、特別に通学区を越えて入学・転学ができる制度です。県内では亀山市、名張市で4校実施されています。

現在、西藤原小学校には3名の児童がこの制度により通学。なお、通学方法は、保護者の自家用車での送迎や交通機関(三岐鉄道など)の利用となります。

いなべ市消防団 大安地区団
三重県消防操法大会 (7月22日)
ポンプ車の部で3位入賞



写真(敬称略)後列左から、いなべ市消防団副団長 神谷 清、3番員 伊藤文裕、補欠員 藤井秀樹、吸管補助員 川内敏宏、大安地区団指揮隊長 田内和法。前列左から 指揮者 森 輝雄、1番員 一色祥太、2番員 出口哲司、4番員 服部泰通

阿下喜温泉「あじさいの里」
～6月に入浴者が3万人を突破～



正面が食堂のある「ふれあいコーナー」。その手前が浴室の入口。

議会活動日誌

月 日	内 容	場 所	月 日	内 容	場 所
5月15日(月)	議会運営委員会	大安庁舎	6月13日(火)	6月定例議会 (一般質問)	大安庁舎
15日(月) 16日(火)	広報特別委員会 視察研修	岐阜県本巣市 静岡県島田市	14日(水)	" (一般質問)	"
18日(木) 19日(金)	教育民生常任委員会 視察研修	静岡県菊川市 " 掛川市	16日(金)	" (総括質問ほか)	"
"	産業建設常任委員会 視察研修	長野県飯島町 " 伊那市	"	常任委員会 (総務・教育民生・産業建設)	"
20日(土)	第二名神・期成同盟会 及び 三重 滋賀県民協議会合同大会と総会	亀 山 市	21日(水)	議会運営委員会	"
24日(水)	全国市議会議長会	東 京 都	22日(木)	6月定例議会 本会議《閉会日》	"
26日(金)	三重県地方自治危機突破総決起大会	津 市	"	議員全員協議会	"
27日(土)	国道421号トンネル工事の安全祈 願祭と起工式	いなべ市側入口 滋賀県東近江市	29日(木) 30日(金)	議会運営委員会 視察研修	山梨県南アルプス市 " 山梨市
29日(月)	桑名・員弁広域連合 臨時会	桑 名 市	7月 6日(木) 7日(金)	総務常任委員会 視察研修	福井県越前市 石川県羽咋市
30日(火)	三重県市議会議長会 定期総会	尾 鷲 市	7日(金)	北勢5市議会 懇話会	桑 名 市
31日(水)	議員全員協議会	大安庁舎	10日(月)	広報特別委員会	大安庁舎
6月 2日(金)	議会運営委員会	"	13日(木)	国道306号整備促進同盟会 総会	菰 野 町
5日(月)	桑名広域清掃事業組合議会議	桑 名 市	19日(水)	議会運営委員会	大安庁舎
6日(火)	広報特別委員会	大安庁舎	24日(月)	議会広報研修会	津 市
9日(金)	6月定例議会 本会議《開会日》	"	25日(火)	広報特別委員会	大安庁舎

議決結果一覧

定例会で審査を行った案件

6月定例議会(9日から22日)で、以下の案件の審査を行いました。議決結果は以下のとおりです。

《委員会付託を省略した案件》

すべて原案のとおり、承認・可決しました。

- ◇承認第1号「専決処分の承認を求めることについて
(税条例の一部を改正する条例)」
- ◇承認第2号「専決処分の承認を求めることについて
(国民健康保険条例の一部を改正する条例)」
- ◇承認第3号「専決処分の承認を求めることについて
(農業公園に関する条例の一部を改正する条例)」
- ◇承認第4号「専決処分の承認を求めることについて
(平成18年度一般会計補正予算 第1号)」
※災害復旧に伴う補正。歳入・歳出とも1億6,971万8千円を追加。
- ◇承認第5号「専決処分の承認を求めることについて
(コミュニティバス購入契約)」
- ◇議案第56号「工事請負契約の締結について」
※あじさいクリーンセンタープラスチック圧縮梱包施設建設工事の請負契約の締結

《委員会付託を行った案件》

すべて原案のとおり、可決・採択しました。

- ◇議案第49号「いなべ市観光用駐車場条例の制定について」
- ◇議案第50号「いなべ市議会の議員その他非常勤の職員の
公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例につ
いて」
- ◇議案第51号「委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関す

る条例の一部を改正する条例について」

- ◇議案第52号「いなべ市消防団員等公務災害補償条例の一
部を改正する条例について」
- ◇議案第53号「いなべ市非常勤消防団員に係る退職報酬金
の支給に関する条例の一部を改正する条例について」
- ◇議案第54号「いなべ市・東員町障害者介護給付費等の支
給に関する審査会の共同設置に関する協議について」
- ◇議案第55号「三重県自治会館組合の共同処理する事務の
変更及び三重県自治会館組合の規約変更に関する協議に
ついて」
- ◇議案第57号「いなべ市道路線の変更について」
※阿下喜地内の道路線の変更
- ◇議案第58号「平成18年度いなべ市一般会計補正予算 第
2号」
※歳入・歳出とも165万3千円を追加。
- ◇請願第2号・請願第3号「出資法の上限金利の引き下げ
等、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法
律及び貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願

《議員が提出した案件》

- ◇発議第3号「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締り
に関する法律及び貸金業の規制等に関する法律」の改正
を求める意見書(可 決)

総括質疑

案件の審査を委員会に付託する前の本会議(6月16日)において、案件に対する総括質疑を行いました。質疑を行った議員は以下の3人でした。

質疑通告書提出順

- ① 石原 瞭 ② 衣笠 民子 ③ 岡 英昭

反対 VS 賛成

議案第56号「工事請負契約について」は、賛成多数により可決となりましたが、反対と賛成の討論がありましたので、その内容につき紹介します。

契約の目的……あじさいクリーンセンター プラスチック圧縮梱包施設建設工事
 工事の場所……あじさいクリーンセンター敷地内
 契約金額……1億5,225万円(税込)
 契約相手……エスエヌ環境テクノロジー㈱

反対討論

桑名広域清掃事業組合は、平成18年から平成20年にかけて約8億円で焼却施設を解体。その跡地に10億円から11億円でプラスチック圧縮梱包施設を建設する計画である。同じ地域に同じ施設を造ることは全く無駄である。なお、員弁町分のプラスチックごみの処理は、建設後も引き続き桑名清掃事業組合で行うため「いなべ市」は建設に要する負担金の応分を払わなければならない。

今後も「いなべ市」のごみの処理は「あじさいクリーンセンター」と「桑名清掃事業組合」の2カ所で行われることになる。非常に非効率ではないか。

多額の経費を要する「し尿処理」・「消防」・「ごみ処理」などは、近隣市町とともに広域で対応することがベターである。財政厳しき「いなべ市」が1億円もの基金を取り崩してまで単独で行う事業ではない。よって、議案第56号に反対する。

賛成討論

質疑において明らかになったように、安全性での問題はないということでした。それから、今後のごみの問題は、むしろ20億円近く掛かる「桑名広域清掃事業組合」よりも「いなべ市」としてどうするのかということを考えていくべきだと思う。そういった立場から議案第56号に賛成する。

9月定例議会 (予定)

◆開会日…9月 7日(木)

◆閉会日…9月26日(火)

クイズ

「クイズ」のコーナーをつくりました。答えはすべて「議会だより」の中にあります。ぜひご応募ください。

問1 6月定例議会で一般質問を行った議員は「何名」でしたか。

問2 員弁町地域で運行が始まったコミュニティバスの愛称は「〇〇バス」でしょうか。

問3 西藤原小学校の現在の児童数は「何名」でしょうか。

応募方法

官製はがきに「答」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りください。

正解者の中から抽選で15名の方に「図書券」をプレゼントします。

☆あて先 〒511-0292
 いなべ市大安町大井田2705番地
 大安庁舎内

いなべ市議会事務局

☆締切日 平成18年8月31日(木)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」にスペース(空白)ができましたら、「議会だより」や「議会」に対するご意見や感想もぜひお書きいただき送付ください。

視察研修を行いました

内容につき、詳しくは12P～15Pをご覧ください。



防災対策を学ぶため「福井県越前市役所」を訪問



「静岡県菊川市の総合保険福祉センター」を視察



長野県伊那市の「はびろ農業公園」を視察
(見学を前に説明を受ける)



よりよい運営をめざして山梨県の2つの市を訪問
(南アルプス市役所にて)



読みやすい広報誌をつくるため先進地を訪れる
(岐阜県本巣市役所にて)

編集後記

市議会は、6月定例議会を前後して各常任委員会などで視察研修を行いました。「議会だより第10号」は、6月定例議会の報告と併せて視察研修の様子も掲載しました。

今議会の特徴は、一般質問に立つ議員が先回の17人に引きつづき、24人中19人と多く、議会の活性化が図られている点です。同じテーマでも、さまざまな角度から深められることが大切ですが、どのように議論が深められたか、議会だよりをご覧ください。

広報特別委員会も「読みやすい広報誌」を目指し、研修を行いました。早速、今号に成果が表れているでしょうか。皆さんの目で確かめ、ご意見をお寄せください。

皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL (0594) 78-3515 / FAX (0594) 78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>